

法学研究科 法律学専攻（研究者コース 政策科学系） 修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

法学研究科法律学専攻（研究者コース 政策科学系）は、以下の能力を有すると認められた者に修士（法学）の学位を授与します。

■ 高度な専門的知識・技能

- 研究者としての活動の基盤となる、各自が専門とする政策学分野についての高度で精緻な専門的知識を修得している。
- 課題解決に必要な情報を収集・分析する能力、研究者に必要とされる語学運用能力、問題を科学的にとらえる定量的、定性的分析手法などを用いて、課題解決に有用な高度な政策立案能力および政策評価能力を身につけている。

■ 高い問題解決能力と表現力

- 地域社会から国際社会にいたる諸課題について、論理的考察、統計分析、フィールドワークなどの研究手法を駆使しながら、高度な解決策を考案することができる。
- 未来社会の構築に向けて政策提言を行うことのできる高度な政策的思考及び表現力を身につけている。

■ 高い倫理観に基づいた自律的行動力

- 自律的な研究者を目指す人材として、政策学的な観点から説得力のある議論を展開することができる。
- 自らの専門性を深め、高い倫理観に基づき主体的・自律的に研究する態度を身につけている。

法学研究科 法律学専攻（研究者コース 政策科学系） 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

法学研究科法律学専攻（研究者コース 政策科学系）では、修了判定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を実現するために、以下のとおり教育課程を編成し、実施します。

教育課程の編成

（編成の方針）

- 1 法学研究科法律学専攻（研究者コース 政策科学系）は、地域社会から国際社会にいたる政策的諸課題に対応しうる研究者を育成するため、高度な政策立案能力および政策評価能力の修得を可能とする、順次性、体系的のある教育課程を編成する。
- 2 教育課程は、「専攻共通科目」「政策科学系科目」「法律学系科目」の3つの科目区分で編成し、コースワークによって体系的に学修することができるように科目を配置する。
- 3 「政策科学系科目」を「専門基礎科目」「専門科目」「特別研究科目」に細分し、さらに「法律学系科目」のうち一定の「専門科目」を受講できるようにして、政策科学および関連する法律学を順次的に学修することができるように科目を配置する。

（教育課程の構成）

※（）は修了に必要な単位数で、修了要件単位数 30 単位の内訳
法学研究科法律学専攻（研究者コース 政策科学系）は編成方針に基づき、専攻共通科目（2）、専門基礎科目（2）、専門科目（18）、特別研究科目（8）の4つの科目区分で構成する。

1)「専攻共通科目」は、法律学・政策科学の全体を俯瞰し、自らが専門として研究しようとする分野の法学全体の中での位置づけを把握するために必要となる知識を修得するための科目区分である。コースワークの導入的科目として、専攻共通の法政総合演習を1年次に配置する。2 単位必修とする。

2)「専門基礎科目」は、「専攻共通科目」と「専門科目」「特別研究科目」「特定課題研究科目」を有機的に関係づけるために、1科目を1年次に配置する。2 単位必修とし、他系の科目は履修できない。政策科学系では、政策科学固有の調査研究方法論の基礎を系統的に学習し、自らの専門的研究からの適切なアプローチの手法、課題解決に必要な情報収集・分析能力、政策評価能力の基盤を築くことを目的に、政策調査法を配置する。

3)「専門科目」は、自らが専門として研究する分野の高度で精緻な専門的知識を獲得する科目群である。1、2年次に配置する。研究指導教員が担当する科目の単位を含め、所属する系から18単位以上修得する。（研究者コースは4単位を上限に、他系で修得した単位を含めることができる。）

政策科学系の「専門科目」は、研究者コース履修者にとっては、課題発見・解決能力、高度化・複雑化する地域社会の諸課題に対応できる総合的な視野を形成する上で必要となる関連分野の基礎的素養を身につけるために必要な科目群である。

法律学系の「専門科目」は、研究者コース履修者にとっては、課題発見・解決能力、高度化・複雑化する地域社会の多様な法的問題に対応できる総合的な視野を形成する上で必要となる関連分野の基礎的素養を身につけるために必要な科目群である。

4)「特別研究科目」は、研究者コース履修者用の科目群である。1、2年次に配置する。研究指導教員の個別指導のもとで、将来研究者として自立するために必要な能力を身に付けるため、「専門科目」で修得した高度な専門的知識と総合的な視野、そして「専門基礎科目」で身につけた調査研究方法を駆使し、自らが専門とする分野の研究を一層深めていく。研究指導教員が担当する科目の単位 8 単位必修とする。なお、専修コース履修者は履修できない。

政策科学系の「特別研究科目」では特に、確かな情報収集・分析能力、課題解決に有用な政策立案能力・政策評価能力を形成する。また、その過程を通じて、政策学的な観点から説得力のある議論を展開していく能力や主体的な研究態度等を身につけていく。

教育の内容・方法

- ・ 授業は、講義、演習、実験、実習のいずれかにより、またはこれらの併用により行う。
- ・ 予習・復習等、授業時間外の学修について、シラバスへの内容記載や授業での喚起等により、適切な学修時間の確保を促す。
- ・ 授業は、アクティブ・ラーニングを意識し、一方向的な講義ではなく、できるだけ双方向の授業を行う。ディスカッションやグループワークやプレゼンテーションの機会を重視し、レポート作成や課題、社会調査を通じて、自分の考えを磨き上げ、まとめ、他者に伝える訓練を行う。
- ・ 2年生1学期の授業の最後の回には、中間発表会を開催し、各自が1年生や教員の前で発表する。これにより、コミュニケーション能力や発表のスキルアップを図る。

学修成果の評価

- ・ 授業科目の成績評価は、授業への参加・貢献度、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートや課題、試験などによって判定する。成績が一定の水準に達している場合に所定の単位を認定する。
- ・ 修了するためには、所定の科目を含めた 30 単位以上の修得、必要な研究指導を受けた上で、学位請求論文等の提出を必要とする。
- ・ 学生の授業評価等を実施し、各科目での学生の理解度や授業への要望をはじめ、学修達成状況などを把握し、その結果を授業や教育課程の改善に役立てる。

法学研究科 法律学専攻（研究者コース 政策科学系） 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

法学研究科法律学専攻（研究者コース 政策科学系）は、次のような人を求めます。

求める学生像

- 政治学・行政学などの社会科学に関する基礎知識を備え、自らが専攻する政策科学の分野において研究者を目指すのに相応しい優れた学識と適性を備えた人
- 社会問題の解決に自らの研究成果を積極的に生かし、未来社会の構築に積極的に貢献しようとする姿勢を有した人

求める能力

【知識・技能】

- ・ 研究者として政策科学系の領域を研究するうえで必要となる社会科学の知識・方法論、語学運用能力を備えている。
- ・ 政策科学系の分野を研究するうえで不可欠となる定量的あるいは定性的分析を行う能力を有している。

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 研究者になるに相応しい論理的思考力、読解力を有し、どのような分析手法を用いたらよいかについて適切な判断力を有している。
- ・ 自らの考えについて説得力のある議論を展開し、研究内容・成果を適切に表現することができる。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- ・ 地域をはじめとした社会問題の解決に際して、研究者として主体性を持ち、多様な人々と協働して取り組む姿勢を有している。
- ・ 自らが研究する分野において、研究者をはじめ多様な人々と協働して研究する姿勢を有している。